

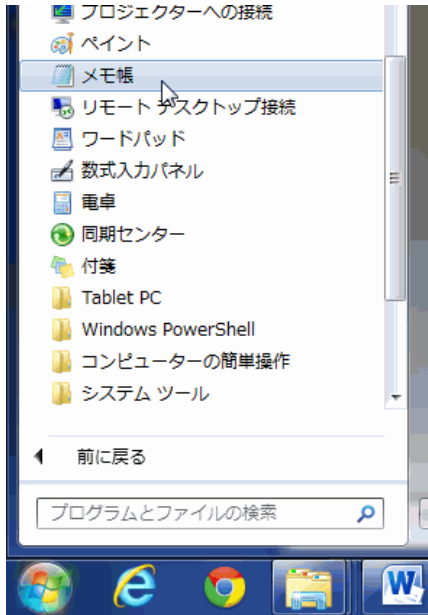
■ Windows7 & メモ帳で IVS の入力

ここでは、Windows7 に標準でインストールされているメモ帳を利用して、IVS(異体字)を入力します。

● 入力前にメモ帳の設定

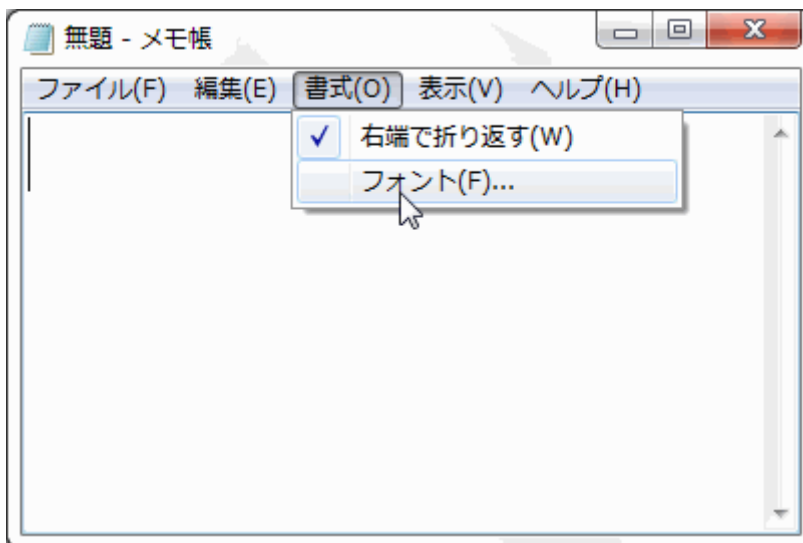
IVS に対応しているメモ帳ですが、そのままでは IVS を表示できません。

スタートメニュー → すべてのプログラム → アクセサリ からメモ帳を左クリックして起動します。



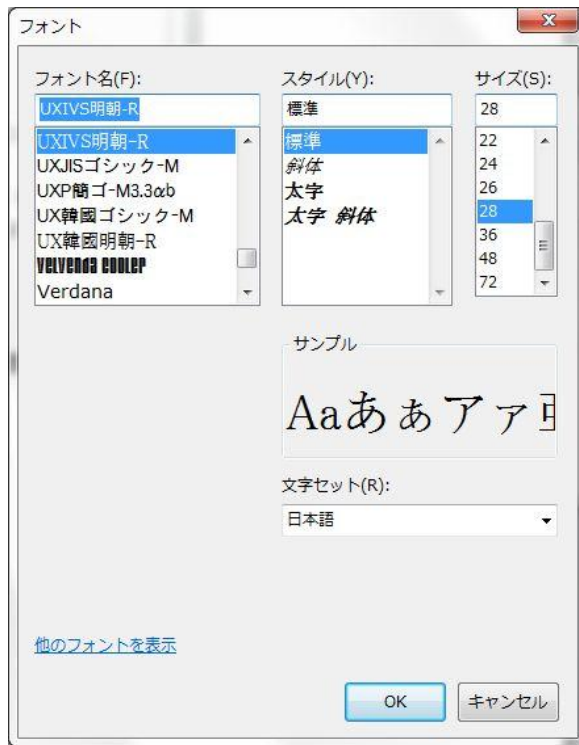
① 入力前に、IVS に対応したフォントに切り替えます。

② メニューの書式 → フォント を選択します。



③ フォントの設定を行います。

ここでは、フォント名を **UX_IVS 明朝-R**、サイズは文字をわかり易くするために大きめの **28 ポイント** に設定します。

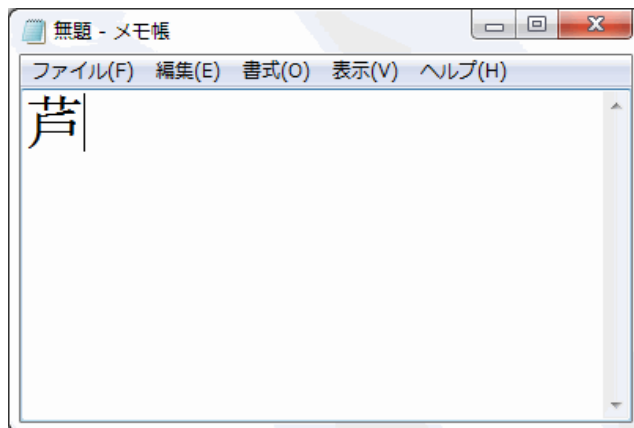


●MS-IME 2010 パッドで IVS 入力

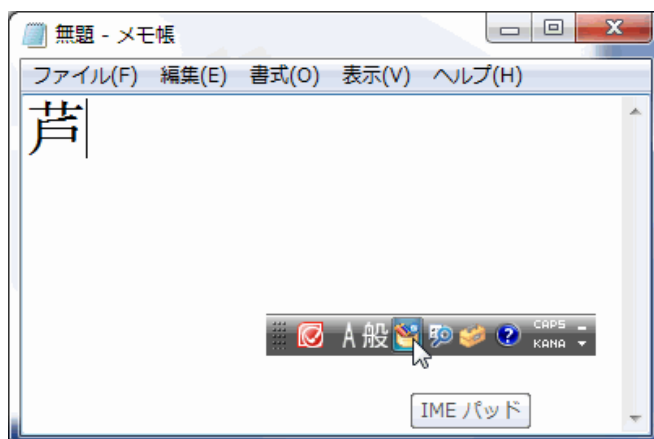
設定が終わったら、IVS(異体字セレクタ)を入力します。

まず、メモ帳に普通に文字を入れます。

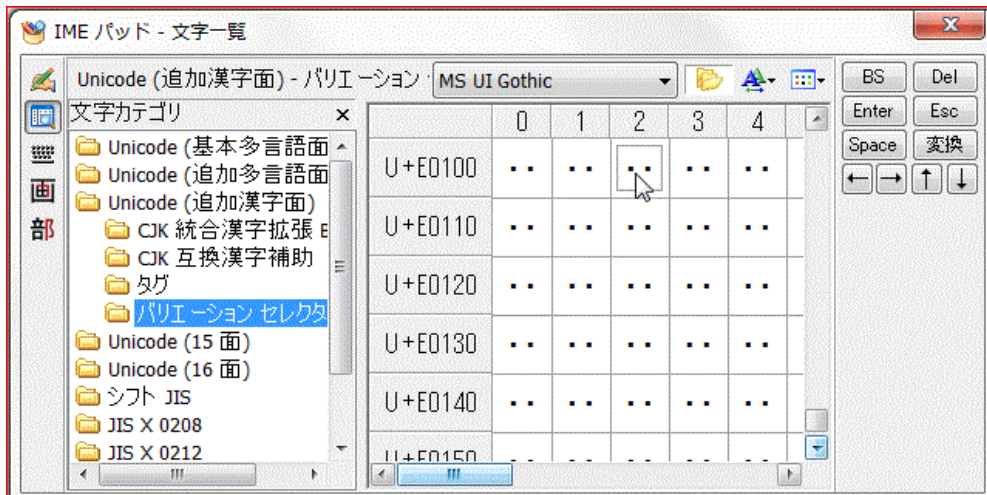
- ① ここでは「芦」を入れてみました。



- ② 入力したら、IME パッドを起動し、文字一覧に切り替えます。

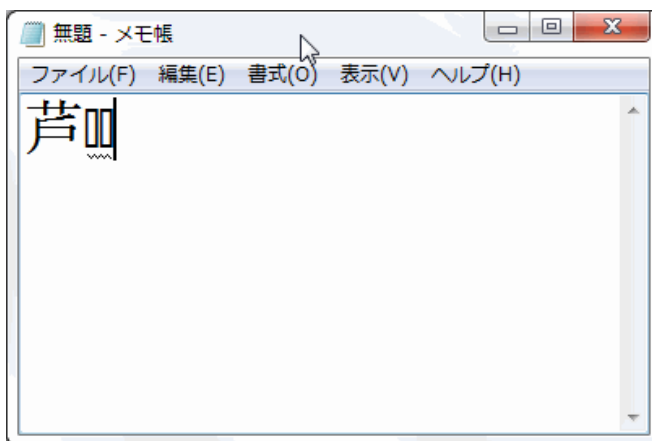


- ③ 次に「芦」の直後にカーソルを移動し、文字一覧のバリエーションセクタ補助を左クリックします。

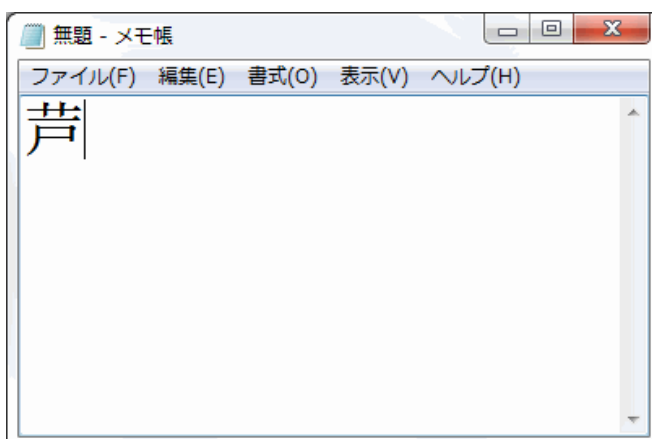


- ④ 次に、一覧の U+E01002 をクリックします。

U+E01002 をクリックすると、未確定の空白らしきものが表示されます。



- ⑤ Enter を押して確定すると、未確定の空白らしきものが消え、異体字に変換されます。



■ **異体字セクタ** (U+E0100~U+E01EF) の値は、**IVS(異体字)漢字一覧** で検索ができます。